

# あっぱれ! 100歳

ご長寿おめでとうございます



家族と長寿を祝う近藤キミさん(中央)

## 近藤キミさん(八日町) 無理せず楽しく!

9月23日に100歳の誕生日を迎えた近藤キミさん。22日に、遠藤市長が施設を訪問し、お祝い金とお祝い状を贈呈。親族や施設関係者と一緒に長寿を喜びました。

看護師として、長年市内の病院に勤務し、退職後は久慈保健所で住民の健康管理や保健指導に携わってきたキミさん。長寿の秘訣を伺うと「無理をしないこと。楽しく笑って過ごすことです」とこやかに語りました。

## News +

### 迅速な行動で火災被害を軽減 兄弟2人に感謝状を贈呈

9月24日、久慈広域連合消防本部は消防業務に貢献した会社員の下畑進之介さんと海上自衛官の下畑大さんに感謝状を贈呈しました。2人は8月15日に大川目町で発生した建物火災を発見。迅速な119番通報を行うとともに、水道ホースによる初期消火活動を行い、被害の軽減に大きく貢献しました。

進之介さんは「感謝していただけのような行動ができてうれしいです。これからも火事や自然災害に備え、防災や減災に努めていきます」と決意を新たにしました。



左から進之介さんと大さん

## 英語で表現力競う

NEWS

久慈市立中学校英語弁論大会



左から各部門で優勝した紗那さん、蘭さん、喜和満さん、天祺さん

9月29日、アンバーホールで久慈市立中学校英語弁論大会が開催されました。24人が参加し、暗唱の部と自作の部に分かれて英語でスピーチ。ジェスチャーを交えながら発音や表現力を堂々と披露し、

- 日頃の学習成果を競いました。自作の部で部活動の思い出や学んだことを語り、優勝した中野紗那さんは「目線を意識し、相手がいる場面ではジェスチャーや声のトーンを工夫しました」と語りました。各部門の入賞者は次の通りです(敬称略)
- ▼**暗唱の部**
  - ▼**1年生**：①于天祺(久慈中) ②柏木音愛(長内中)
  - ▼**2年生**：①砂川喜和満(山形中) ②永瀬花凛(久慈中)
  - ▼**3年生**：①佐々木蘭(山形中) ②舛森華音(夏井中)
  - ▼**自作の部**：①中野紗那(久慈中3年生) ②木地谷一歌(山形中2年生)

## 有事に備えて訓練を開催

NEWS

令和7年度久慈市津波避難訓練、ペット同行避難デモ

10月11日、最大クラスの地震津波を想定した津波避難訓練を行いました。避難場所47カ所に1678人が避難。29カ所では34の自主防災組織が、避難者の受け入れや防災グッズの配布などを行いました。久慈翔北高等学校では、門前と新中の橋の自主防災組織が協力して受け入れを担当。門前町内会の高橋立章会長は「初めて合同で取り組みましたが、打ち合わせを重ね、スムーズに受け入れることができました」と振り返りました。同日、防災センターでは災害時のペット同行避難デモを初開催しました。犬とのふれあいやマナーアップ活動などに取り組む、わん's倶楽部の小倉雅美代表が車に犬を係留する方法を説明。慣れない



避難者の受け入れを行う自主防災組織

避難生活によるストレスを軽減するために、視界をさえぎることをアドバイスしました。避難デモには、犬と猫計9匹が参加。段ボールで区切られたスペースで過ごすペットの様子を確認しました。久慈保健所職員によるペットの災害対策講座も開催。マイクロチップを入れる迷子対策のほか、避難所でペットそれぞれに合う餌や環境の用意は難しく、飼い主がペットを守るために準備することが重要などと話し合われました。わん's倶楽部の小倉代表は「ペットの数や種類が変われば新しい課題が見えてくると思います。継続して少しずつステップアップしてほしいです」と期待しました。



区切られたスペースで過ごすペット

## 第3次久慈市総合計画策定に向けたワークショップを開催

INFO

閩政策推進課 ☎52-2115

市では第2次久慈市総合計画において「子どもたちに誇れる笑顔日本一」のまち「久慈」を基本理念に掲げ、さまざまな施策を行っています。この計画は令和8年度を最終期としていることから、令和9年度から20年度を期間とする、第3次久慈市総合計画の策定に向けて準備を進めています。令和7年3月改訂の市人口ビジョンでは、2050年の市の人口が18566人になると示されています。人口減少を踏まえながら、私たちが将来の市民が幸せに暮らすことができるための総合計画を、市民の皆さんと共に作り上げていきたいと考えています。市民の幅広い意見を生かすため、ワークショップを開催します。協力をお願いします。

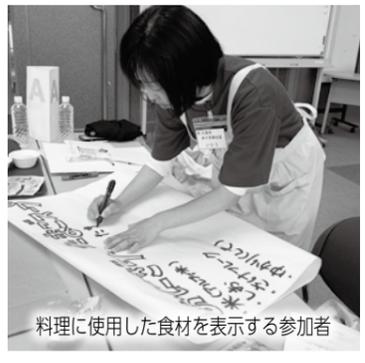
- ▼**市民ワークショップ**
- ▼**内容**：目指すべき市の将来像やその実現に向けた活動指針について、市民同士で意見を出し合います
- ▼**対象**：市在住または市内で働く中学生以上の人
- ▼**申込方法**：二次元バーコードから申し込み
- ▼**個人向けワークショップ**
- ▼**開催日時**：いずれか希望の日
- ① 11月9日(日)13時30分～16時
- ② 11月20日(木)18時～20時30分
- ③ 11月22日(土)9時～11時30分
- ▼**会場**：市役所3階大会議室
- ▼**団体向けワークショップ**
- ▼**開催日時**：令和7年11月中旬において、各団体の希望により調整。2時間30分程度
- ▼**会場**：団体の希望により調整

## 災害時のアレルギー配慮を学ぶ

NEWS

災害時のアレルギー患者への配慮に関する講演・炊き出し訓練

いわてアレルギーの会が10月13日、アレルギーを持つ人への災害時の配慮についての講演会と炊き出し訓練を県北広域振興局で開催。市町村の防災担当者や自主防災組織な



料理に使用した食材を表示する参加者

約30人が参加しました。盛岡医療センターの医師と栄養士が、食物アレルギーの概要や災害時の対応を講演。炊き出し訓練では、参加者が使われている食材の表示やアレルギー対応と非対応の2種類を用意するなど工夫しながら調理し、試食を行いました。同会の日當ます美副代表は「訓練を経験していれば、実践につなげられると思います。少数派に目を向けるきっかけになってほしいです」と思いを語りました。

## 笑顔でつながる漫才講座

NEWS

市民講座しゃべくり笑おう☆「魁・お笑い塾」

漫才ネタを作り上げていく講座が9月22日から全3回、長内市民センターで開催されました。講師は洋野町出身の幼なじみで、市職員の芦口和哉さんと県職員の村田佳之さんの漫才コンビ善し悪しが担当。延べ48人が参加しネタ作りを通して笑いに触れました。2人は掛け合いの仕組みや意外性と共感から笑いが生まれることなどを解説。受講者はペアでショートコントや三段落ちの短いネタづくりに挑戦。最後は約2分のネタを完



自作のネタを披露する受講者

成させ、堂々と披露しました。河野はる美さんは「みんな笑いながら取り組んでいて、自分も思いきり楽しんで発表できました」と笑顔で語りました。